

株式会社SBI証券

決算説明資料

～ 2018年3月期 第3四半期～

2018年1月30日

本資料に掲載されている事項は、当社のご案内の他、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的としたものではありません。なお、当社は本資料に含まれた情報の完全性及び事業戦略など将来にかかる部分については保証するものではありません。また、本資料の内容は予告なく変更または廃止される場合がありますので、予めご承知おきください。

<決算概況>

2018年3月期 第3四半期累計業績

日経平均株価がバブル崩壊後の高値を更新する好調な株式相場を背景に、受入手数料、金融収益が大幅に増加。各利益項目で過去最高を達成。

(単位:百万円、%)

	2017年3月期 第3四半期累計 連結 (2016年4月～2016年12月)	2018年3月期 第3四半期累計 連結 (2017年4月～2017年12月)	前年同期比 増減率
営業収益	66,541	84,269	+26.6
純営業収益	61,753	76,761	+24.3
営業利益	28,195	37,708	+33.7
経常利益	28,179	37,736	+33.9
親会社株主に帰属 する四半期純利益	20,988	26,122	+24.5

<決算概況>

主要インターネット証券の2018年3月期 第3四半期累計業績比較

(単位: 百万円、%)

会社	SBI (連結)		マネックスG(※) (IFRS)		楽天 (連結)		松井 (非連結)		カブドットコム (非連結)	
	項目	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率	
営業収益	84,269	+26.6	38,377	+14.7	40,452	+14.6	23,327	+12.5	18,068	+14.4
営業利益	37,708	+33.7	5,607	+1008.1	14,926	+16.3	13,099	+17.7	5,526	+6.7
経常利益	37,736	+33.9	5,437	+585.6	14,525	+15.3	13,200	+17.4	5,600	+5.0
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	26,122	+24.5	4,661	+1062.3	9,933	+2.7	9,136	+17.4	4,617	▲0.9

出所: 各社WEBサイトの公表資料より当社にて集計

<決算概況>

四半期毎の業績推移

(単位: 百万円、%)

項目	2017年3月期			2018年3月期			前四半期比 増減率
	第2四半期 (16年7~9月)	第3四半期 (16年10~12月)	第4四半期 (17年1~3月)	第1四半期 (17年4~6月)	第2四半期 (17年7~9月)	第3四半期 (17年10~12月)	
営業収益	20,117	24,104	23,922	25,358	27,522	31,388	+14.0
純営業収益	18,569	22,279	22,154	23,327	24,870	28,563	+14.8
営業利益	7,571	10,398	9,777	10,631	12,318	14,758	+19.8
経常利益	7,563	10,345	9,793	10,665	12,308	14,762	+19.9
親会社株主に帰属 する四半期純利益	5,220	7,107	6,809	7,606	8,363	10,152	+21.4

<決算概況>

2018年3月期 第3四半期決算のポイント

1. 委託手数料収入・・・前年同期比19.7%増の25,217百万円

- 委託売買代金は前年同期比14.0%増の79兆8,034億円(うち、信用取引は52兆6,707億円)。手数料率は前年同期比0.11ポイント増の2.99ベース。
- 個人委託売買代金における当期の当社シェアは34.9%。

2. 金融収益・・・前年同期比44.3%増の32,954百万円

- 金融収支は前年同期比44.3%増の32,954百万円。

3. 引受・募集・売出手数料・・・前年同期比12.0%増の3,619百万円

- 投資信託残高は四半期末で1兆5,878億円。
- 2017年4月から2017年12月までの新規上場社数63社のうち当社引受社数は59社。(引受関与率 93.7%)

4. トレーディング損益・その他収入・・・前年同期比15.9%増の22,477百万円

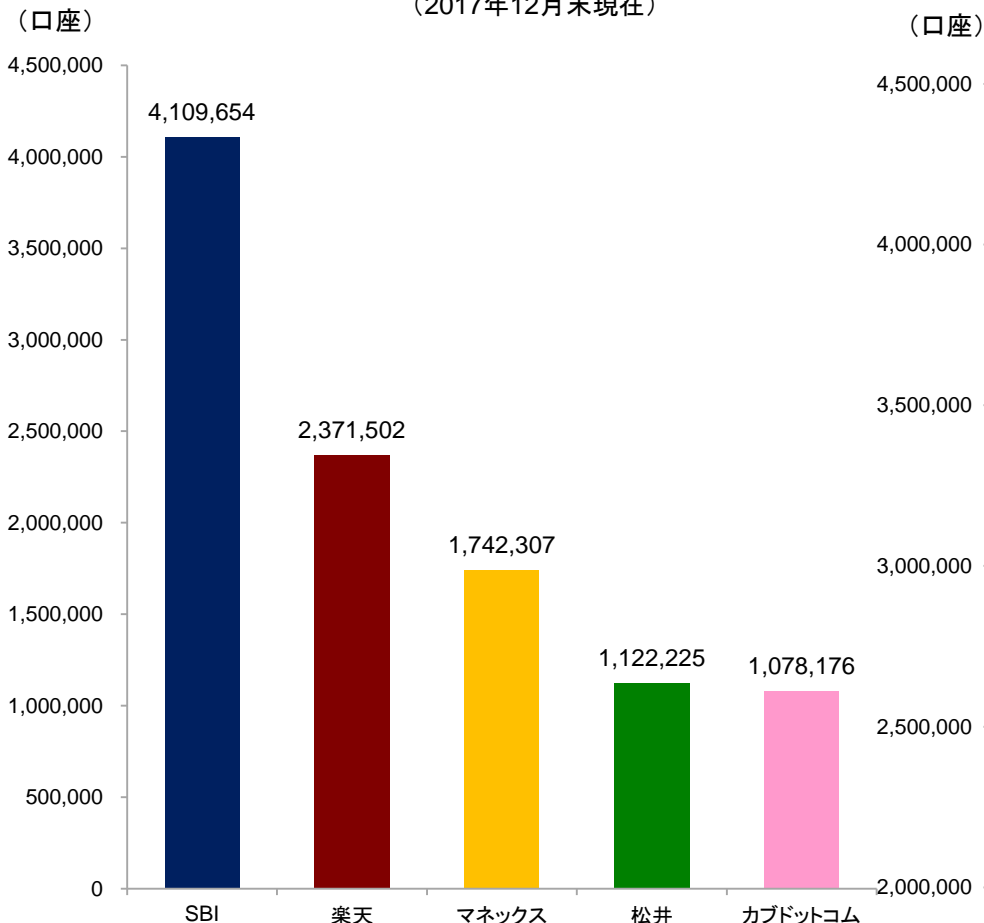
- トレーディング損益は前年同期比4.6%減の13,432百万円。

5. 販売費・一般管理費・・・前年同期比16.4%増の39,052百万円

<決算概況>

主要インターネット証券の口座数比較

<主要インターネット証券5社の口座数>
(2017年12月末現在)



<口座数推移>
(各月末時点)

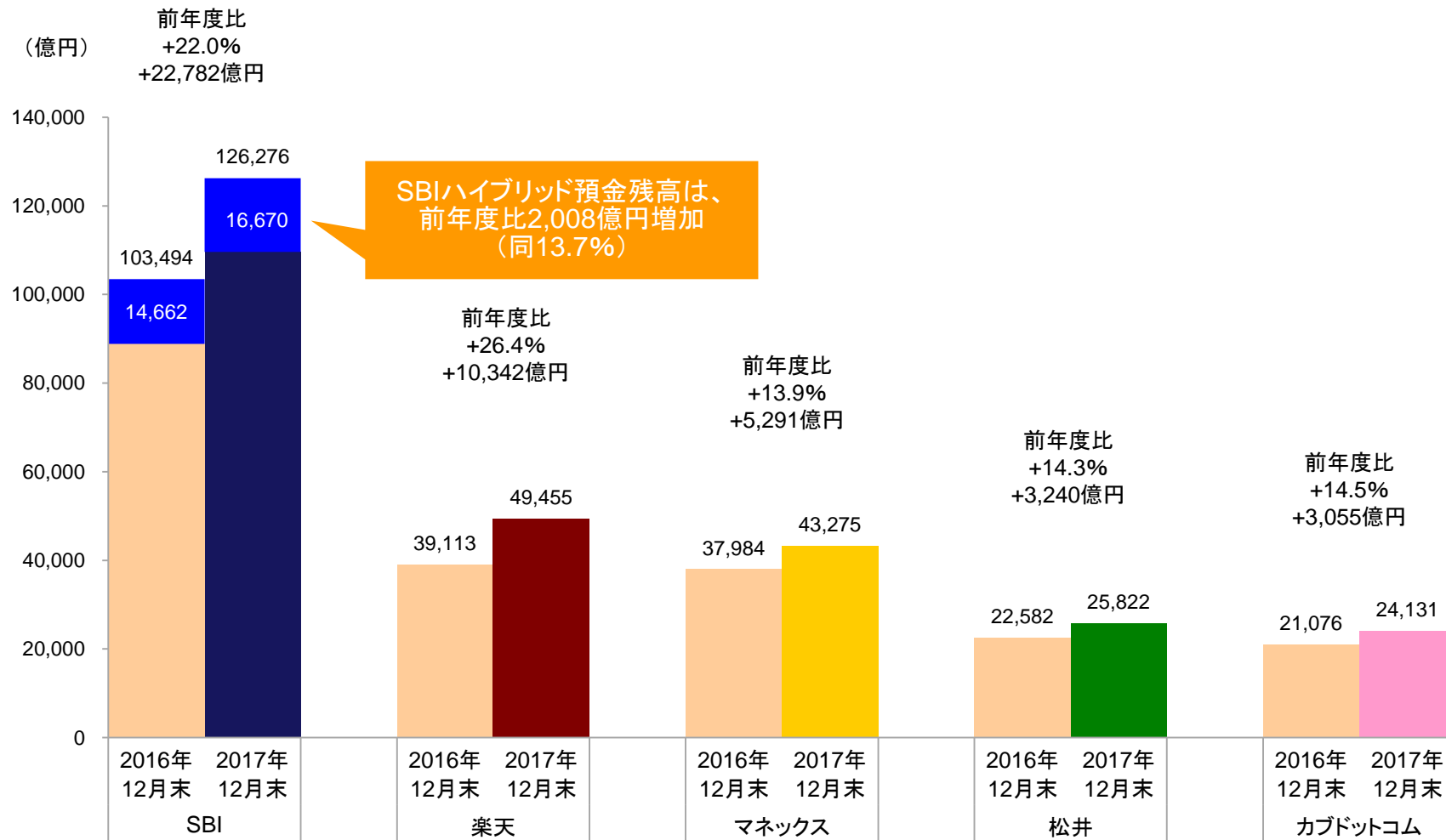


※ 楽天証券の数値は、2017年9月末の数値
主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、カブドットコム証券

<決算概況>

主要インターネット証券の預り資産残高比較

SBIハイブリッド預金残高を含めると、当社の2017年12月末預り資産残高は前年度比22.0%増の約12.6兆円。

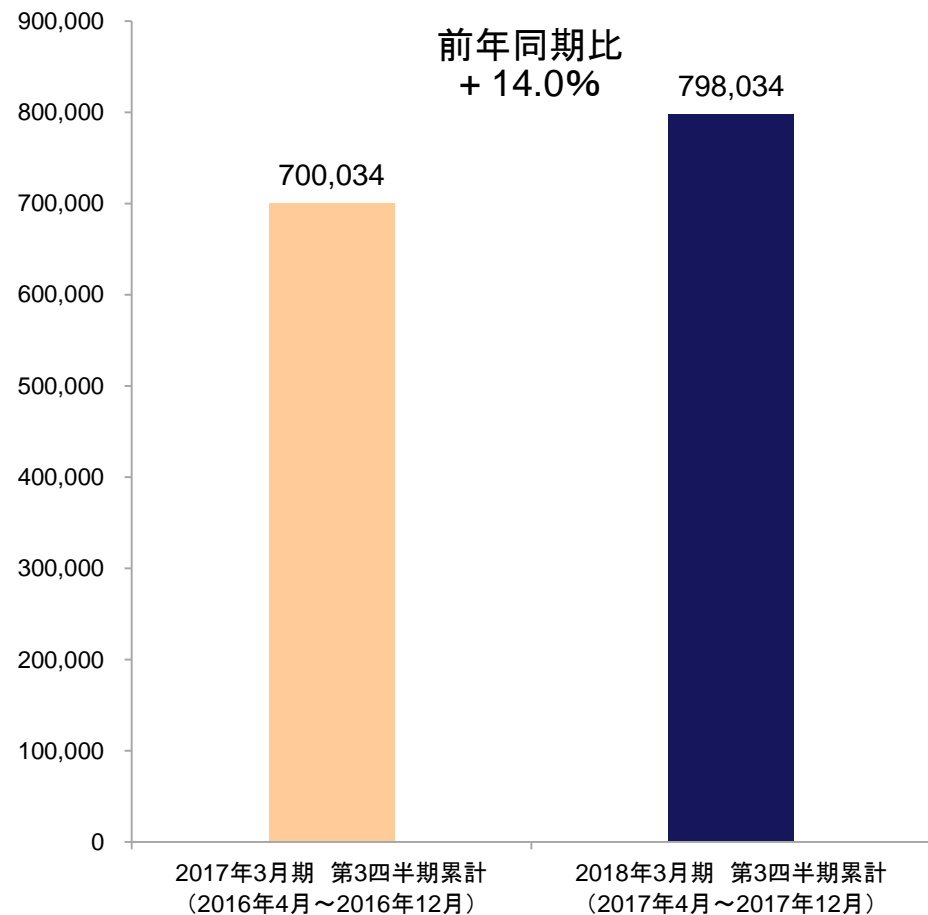


<決算概況>

国内株式 委託売買代金と委託手数料の動向

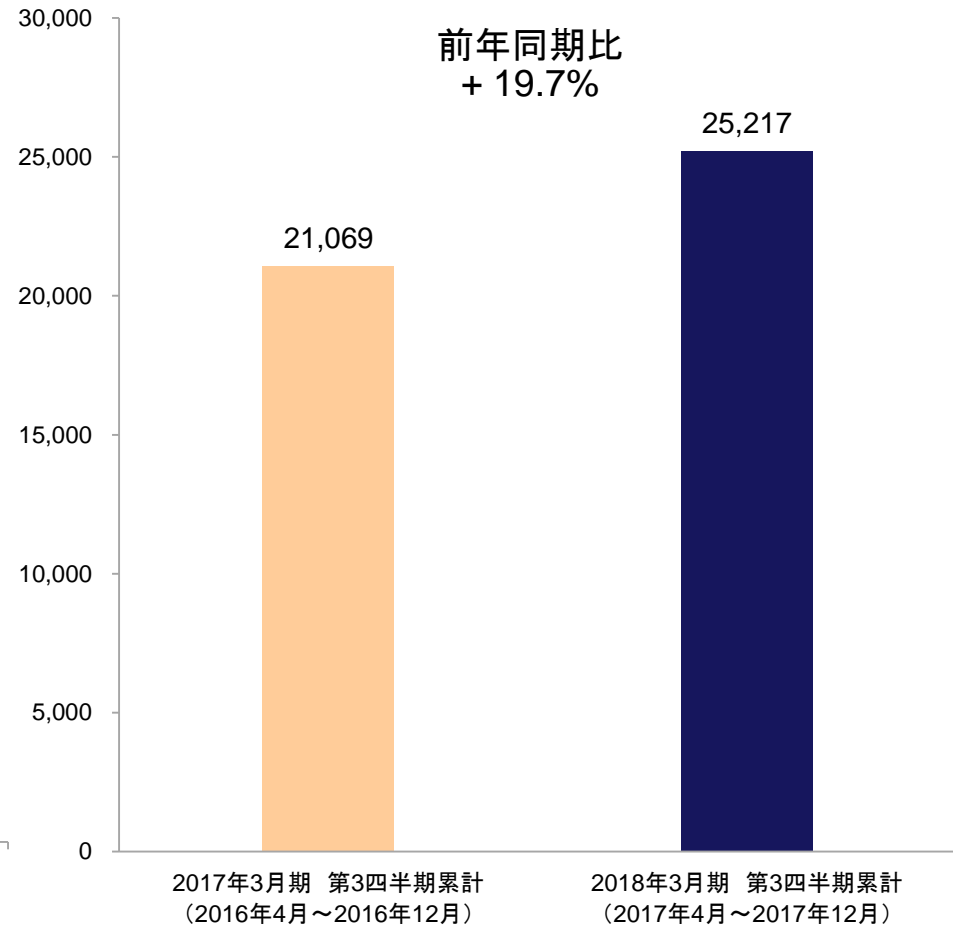
<委託売買代金>

(億円)



<委託手数料>

(百万円)

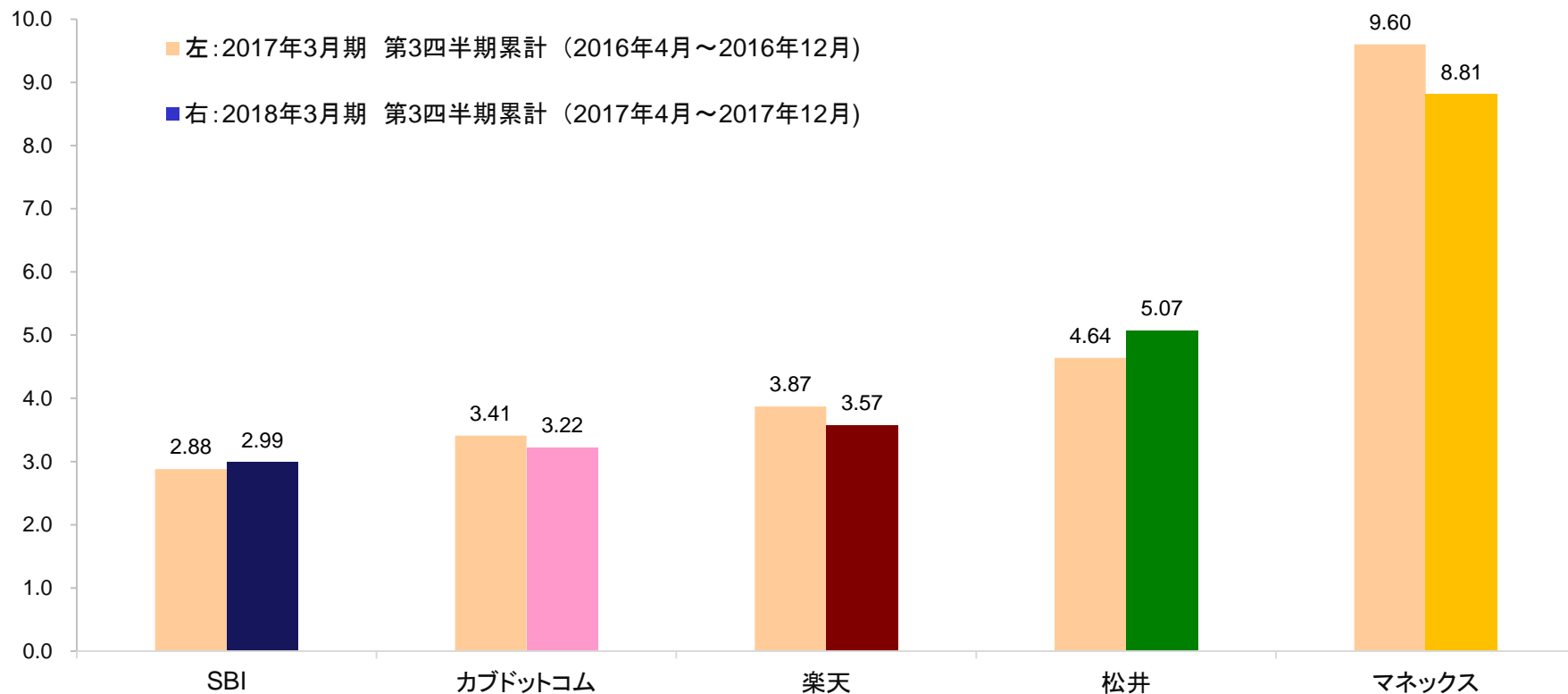


<決算概況>

主要インターネット証券のベースス比較

(ベース)

(委託手数料 ÷ 委託売買代金)



主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、カブドットコム証券、マネックス証券、松井証券
 *マネックスの数值は、マネックス証券の委託手数料の数值を使用

出所: 各社決算資料、月次開示資料等より当社作成
 委託手数料は決算短信より数值を使用
 SBI証券はインターネット部門のみの数值を使用

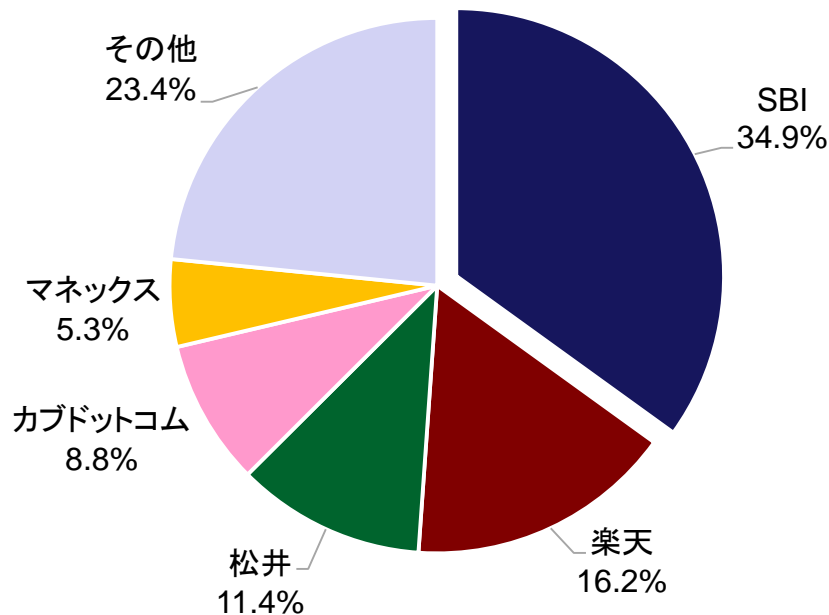
<決算概況>

主要インターネット証券の国内株式 委託個人売買代金シェア

当社は引続き他社を大きく上回る高いシェアを維持し、34.9%のシェアを獲得。

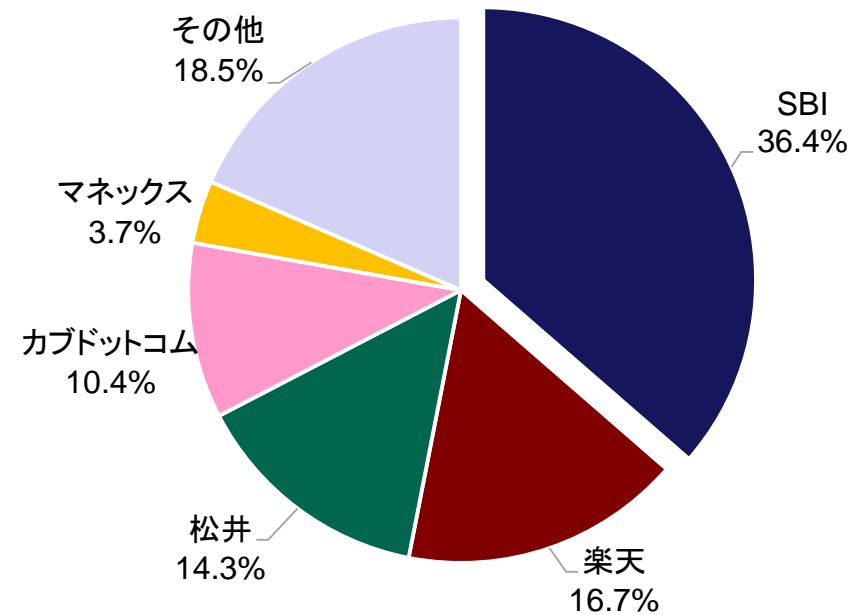
<委託個人売買代金シェア(%)>

2018年3月期 第3四半期累計 (2017年4月～2017年12月)



<委託個人信用取引売買代金シェア(%)>

2018年3月期 第3四半期累計 (2017年4月～2017年12月)



各社委託個人(信用)売買代金÷[株式委託個人(信用)売買代金(二市場1,2部等)+ETF/REIT売買代金]にて算出

出所:東証統計資料、各社WEBサイトの公表資料より当社集計

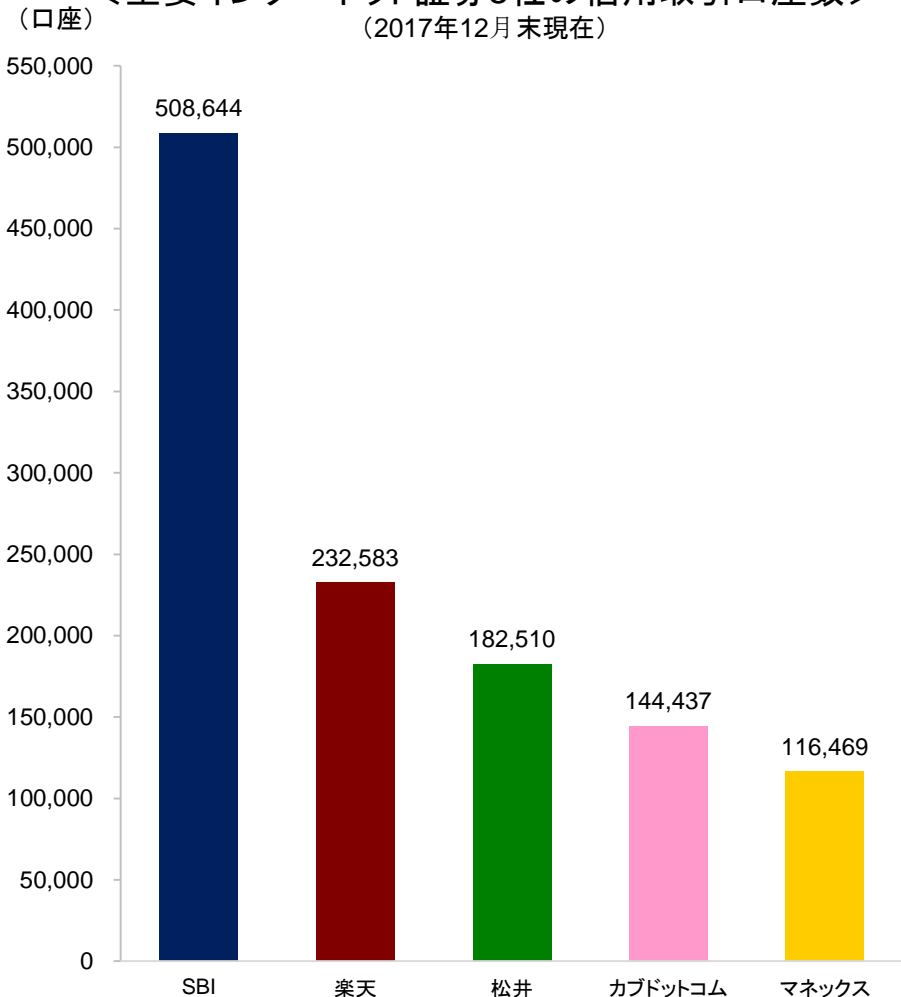
主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、カブドットコム証券

<決算概況>

主要インターネット証券の信用取引口座数比較

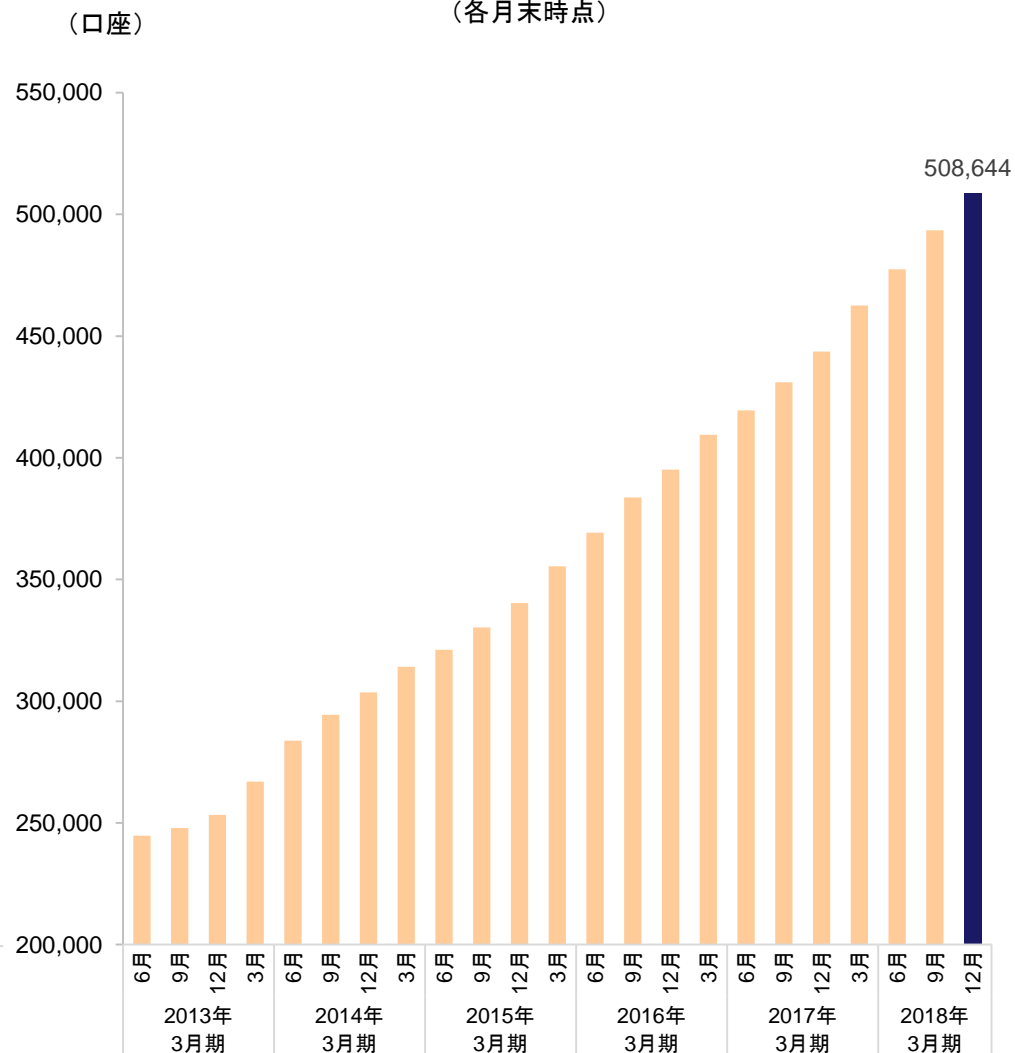
<主要インターネット証券5社の信用取引口座数>

(2017年12月末現在)



<信用取引口座数推移>

(各月末時点)



楽天証券の数値は、2017年9月末の数値

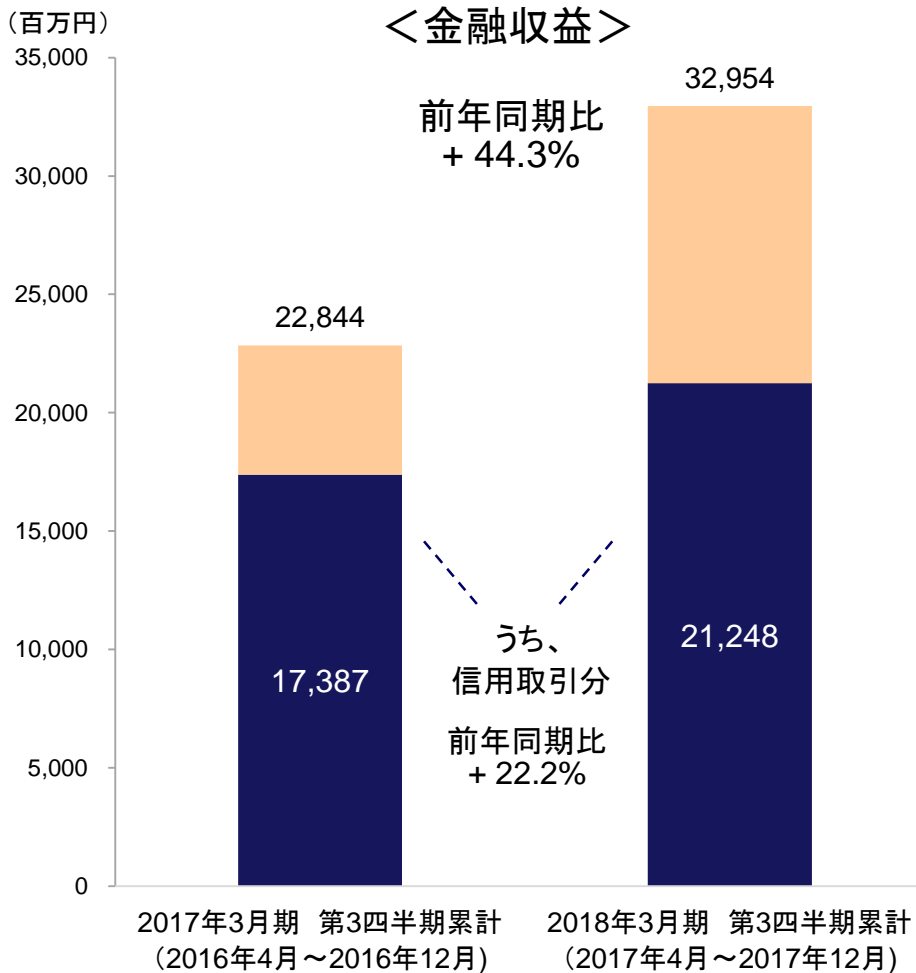
主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、カブドットコム証券

出所: 各社WEBサイト等の公表資料より当社集計

<決算概況>

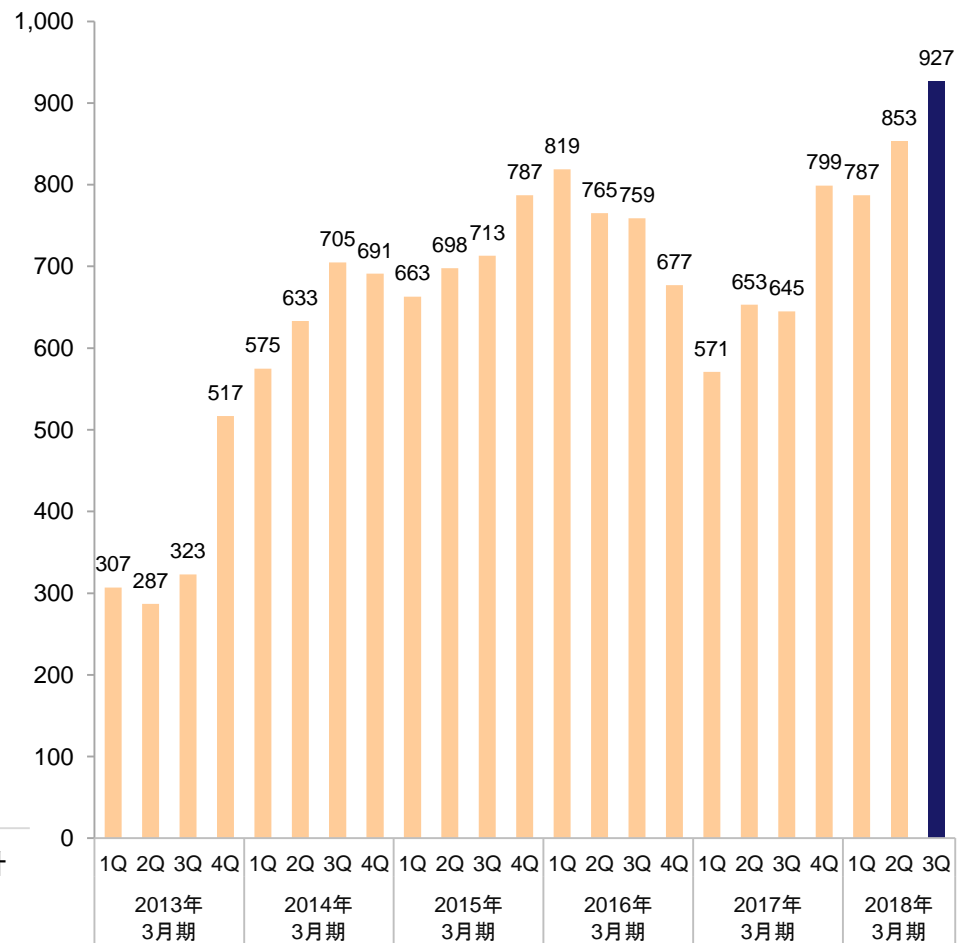
金融収益と信用取引建玉残高の推移

<金融収益>



(十億円)

<信用取引建玉 月末残高の推移>

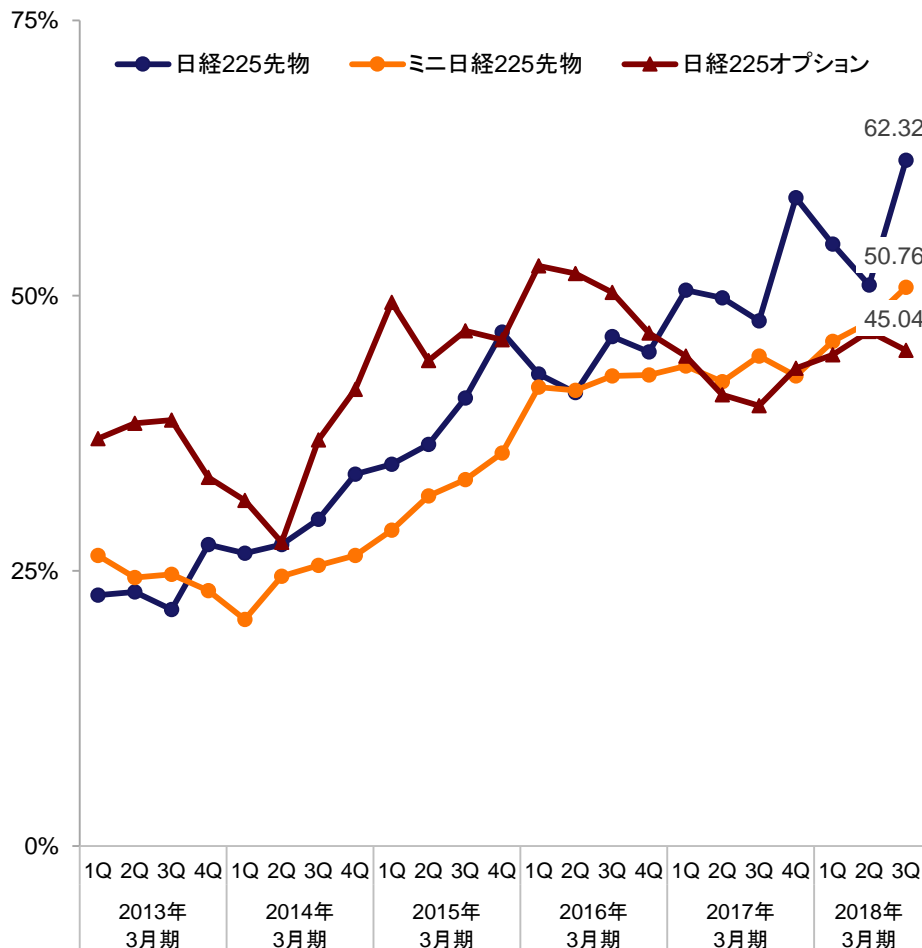


<決算概況>

先物・オプション手数料と売買代金の推移

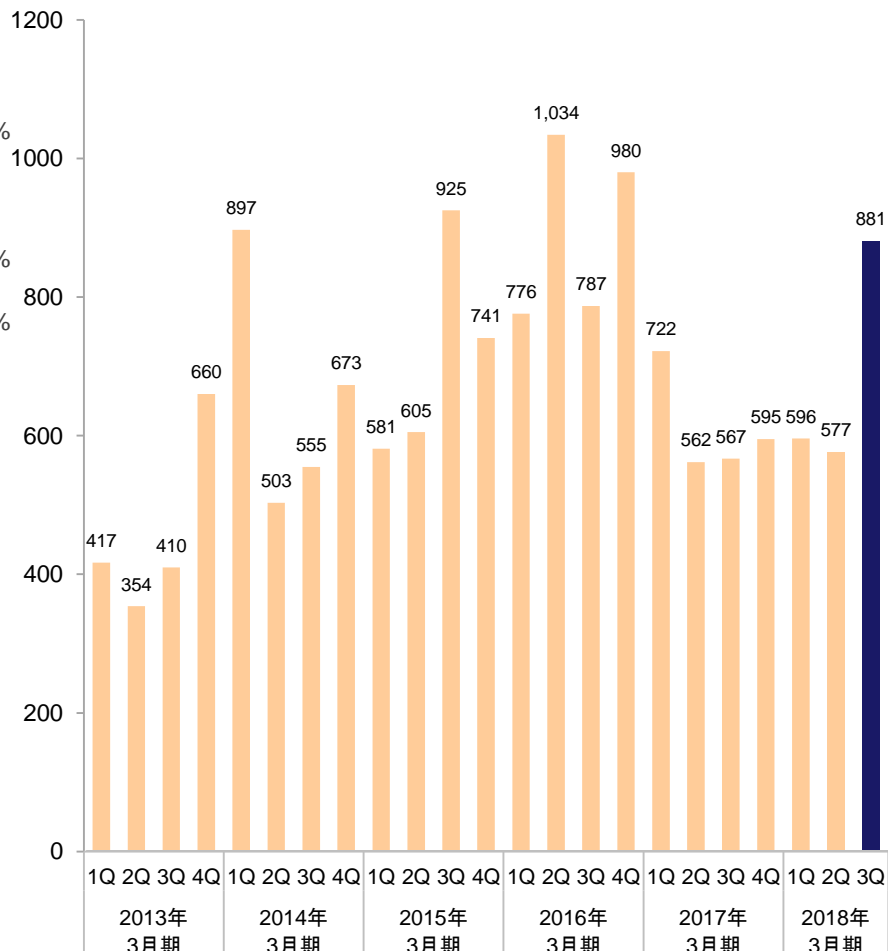
先物・オプションの委託個人売買代金シェアは、引き続き高水準を維持。

<先物・オプション 委託個人シェア>



(百万円)

<先物・オプション収益>



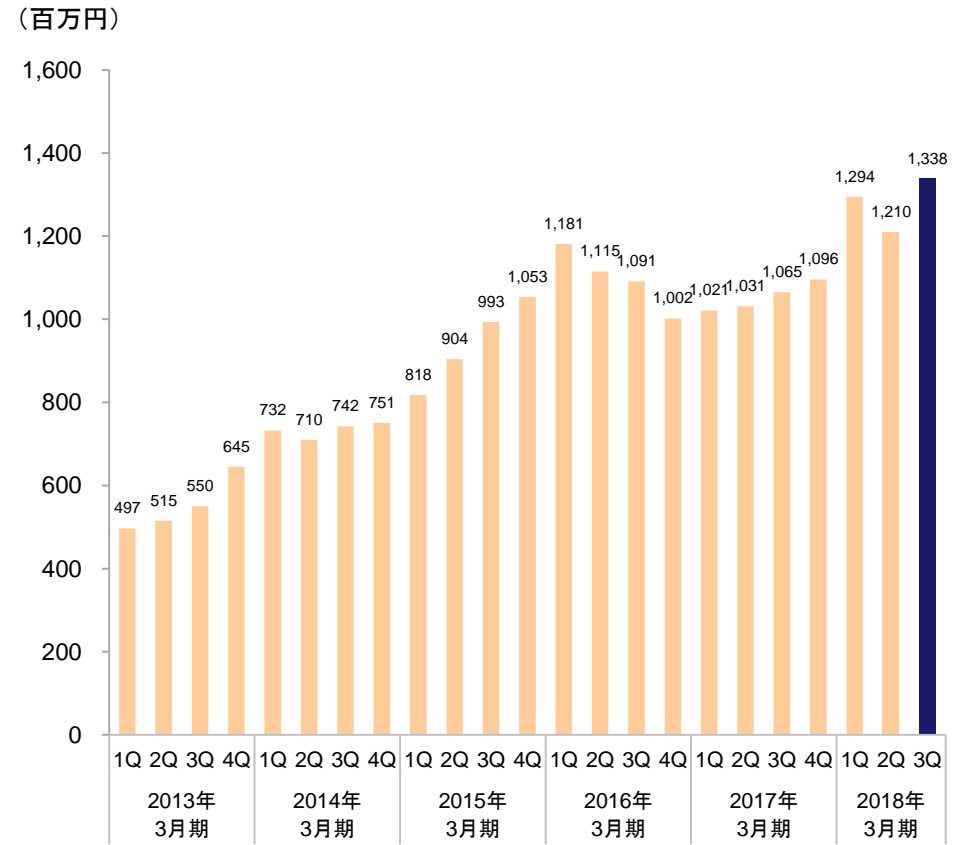
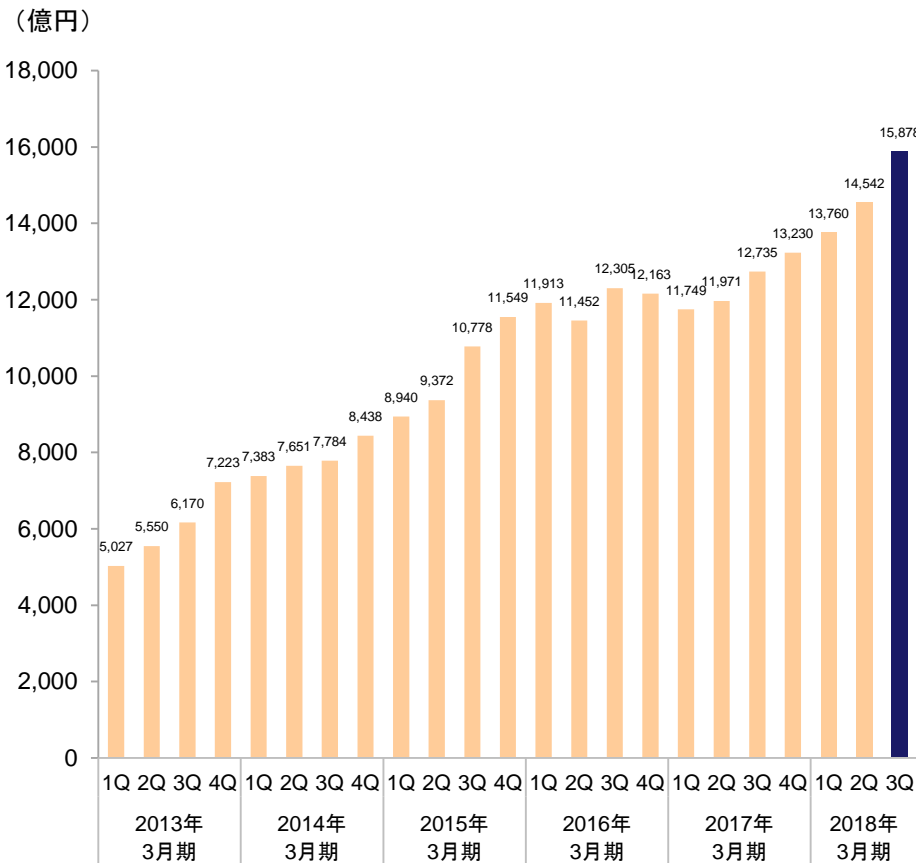
<決算概況>

投資信託残高と信託報酬の推移

投資信託残高の四半期末残高は過去最高を更新し、信託報酬は高水準を維持。

<投資信託 四半期末残高>

<投資信託 信託報酬額>

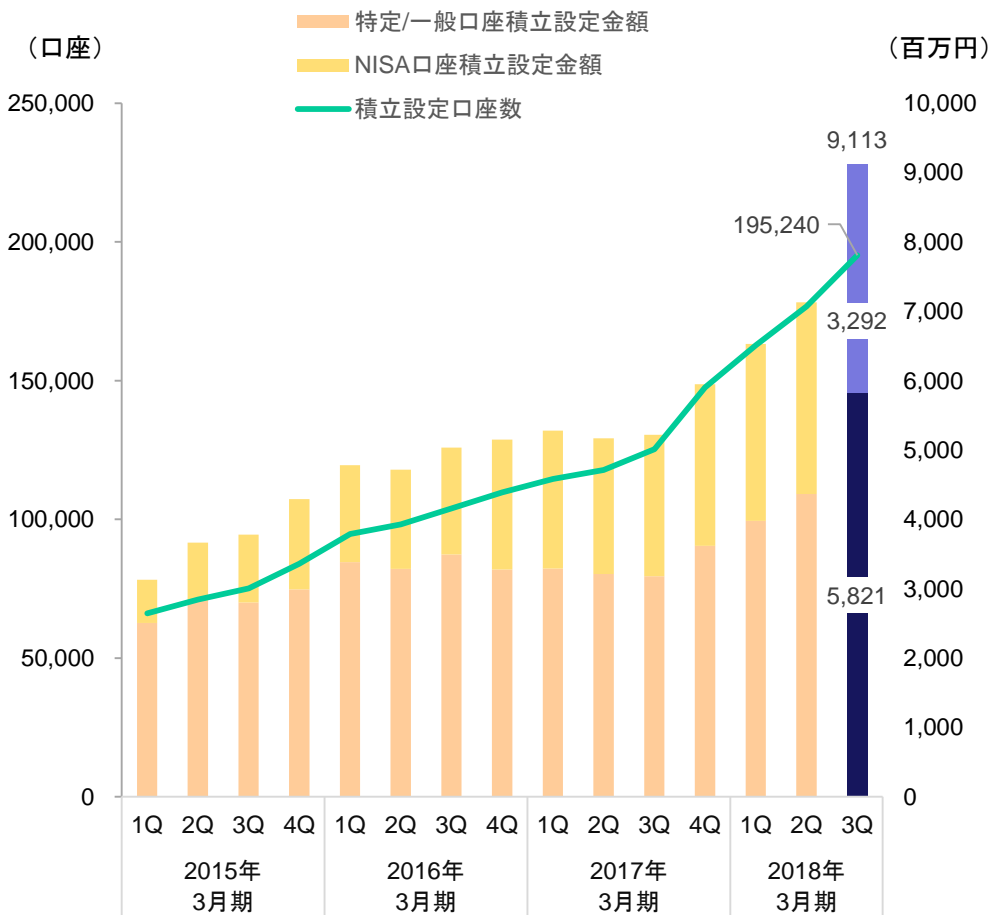


※上場投資信託、MMF、中期国債ファンドおよび対面口座分の預りを含む

<決算概況>

投資信託積立設定金額の推移と取扱商品状況

<投信積立金額の推移>



<売れ筋ファンド-買付金額上位銘柄>

No.	銘柄名
1	ひふみプラス
2	SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ
3	楽天日本株4.3倍ブル

<売れ筋ファンド-積立設定金額上位銘柄>

No.	銘柄名
1	ひふみプラス
2	ニッセイ外国株式インデックスファンド
3	世界経済インデックスファンド

※受渡ベース

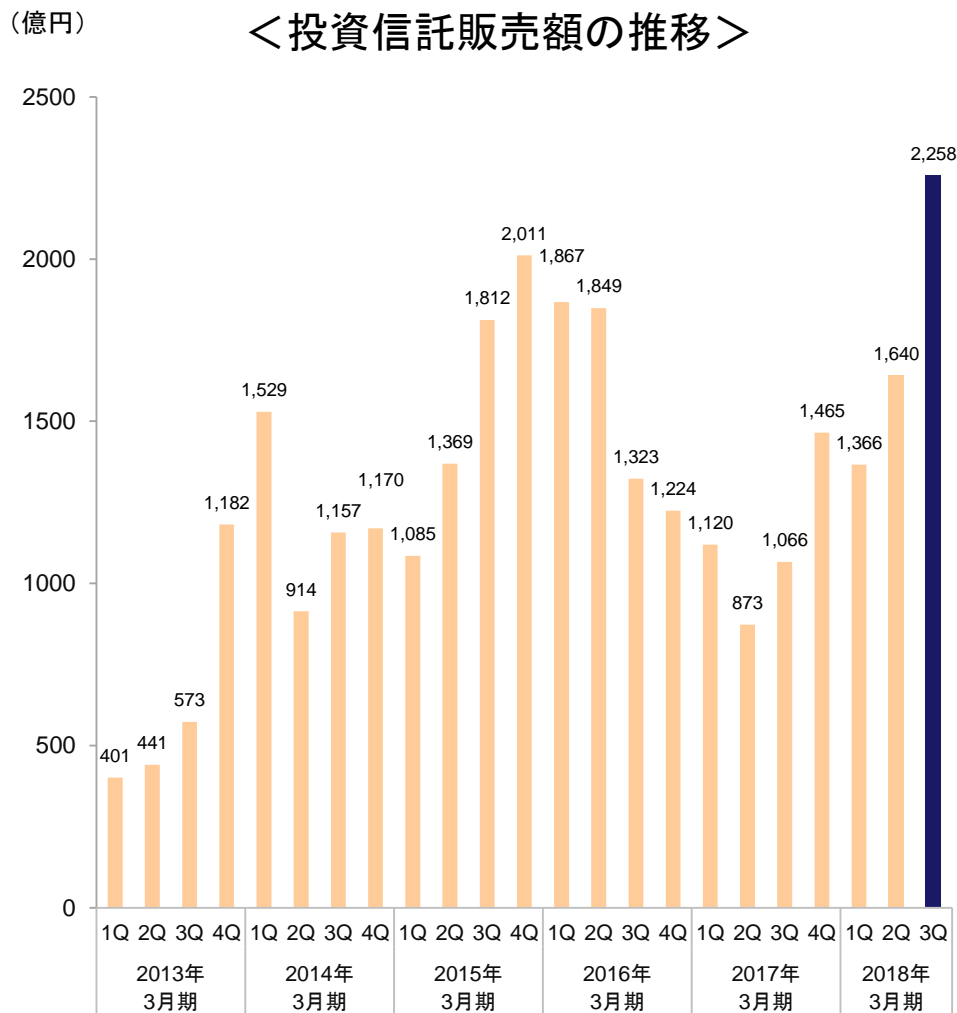
<取扱本数>

取扱本数は2018年1月24日現在:2,601本
うち、ノーロード投信取扱本数は1,259本
※取扱本数は、主要インターネット証券No.1

<決算概況>

投資信託販売額の推移

<投資信託販売額の推移>



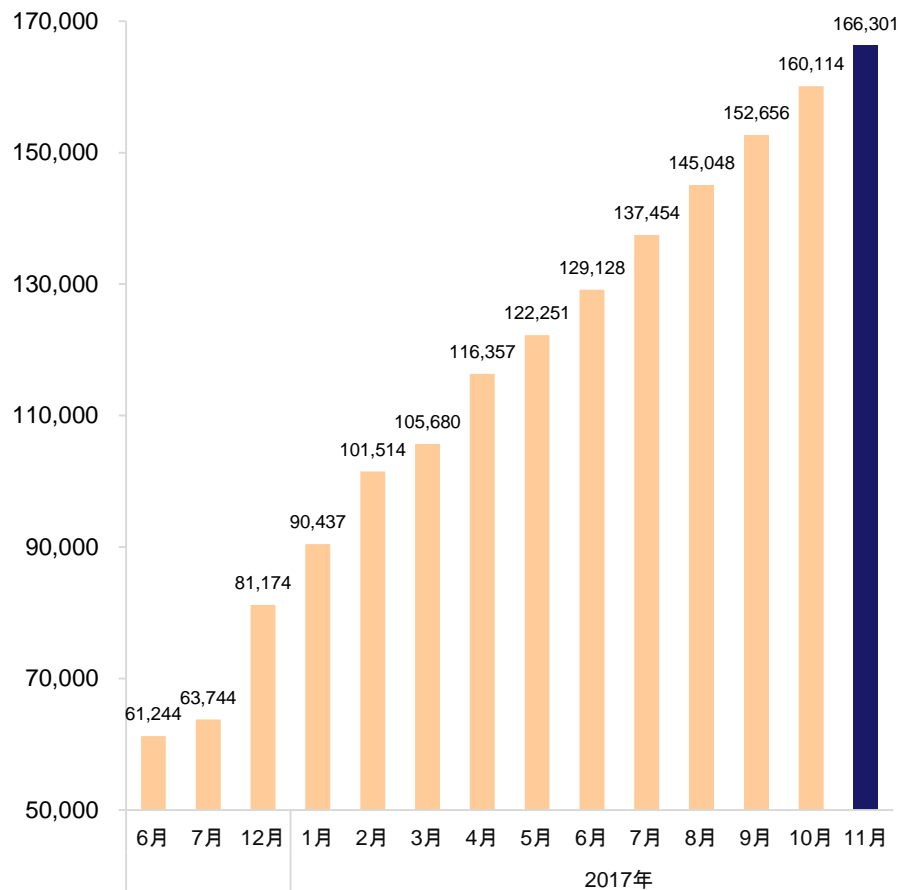
※MMFおよび中期国債ファンドを含む

<決算概況>

iDeCo口座数・残高の推移

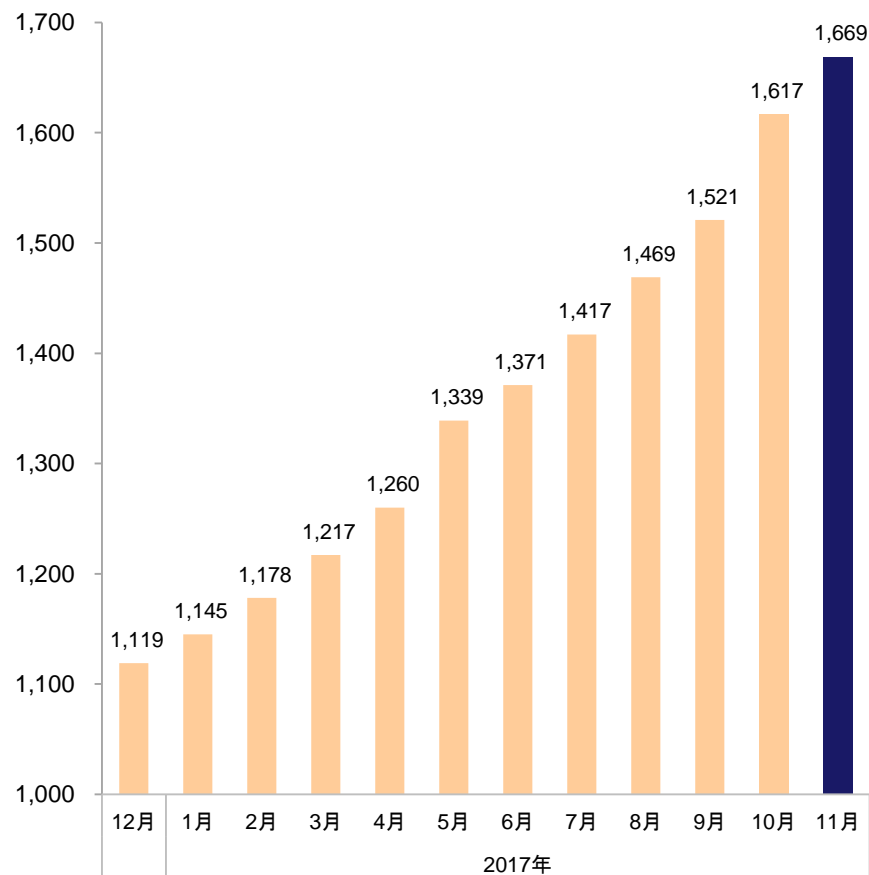
<iDeCo口座数の推移>

(口座)



<iDeCo残高の推移>

(億円)



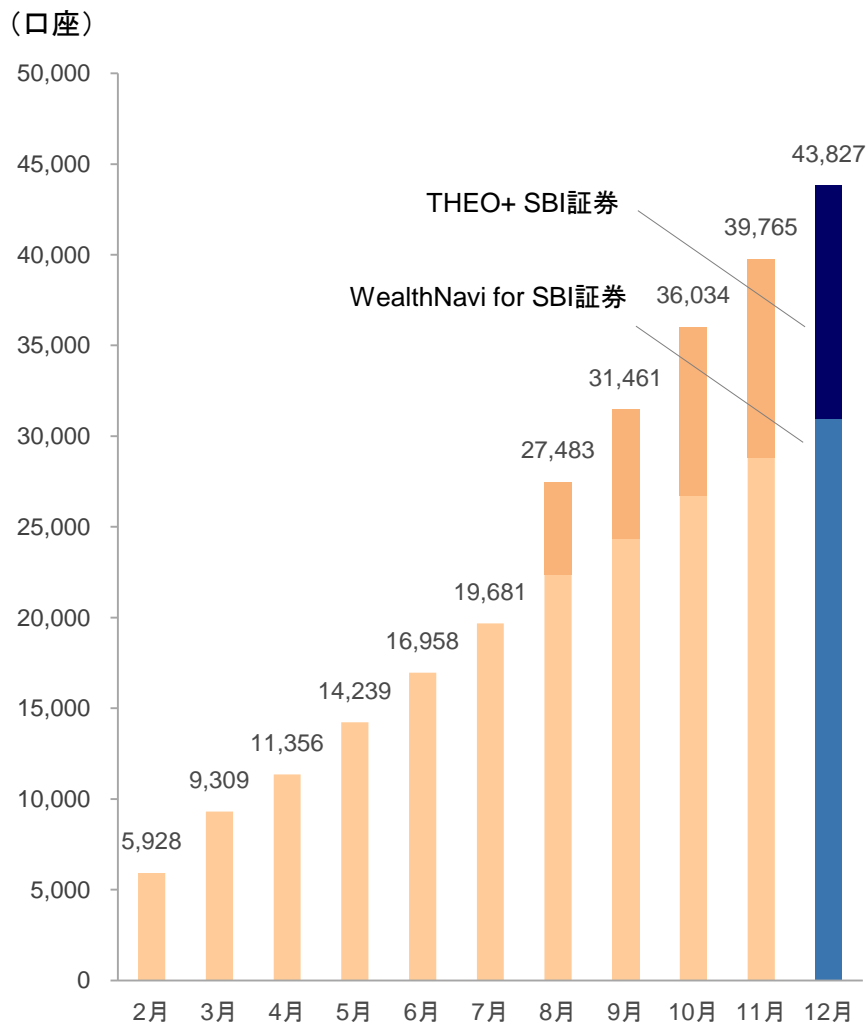
※加入者・運用指図者の合計
 ※出所：国民年金基金連合会

※残高は当社集計

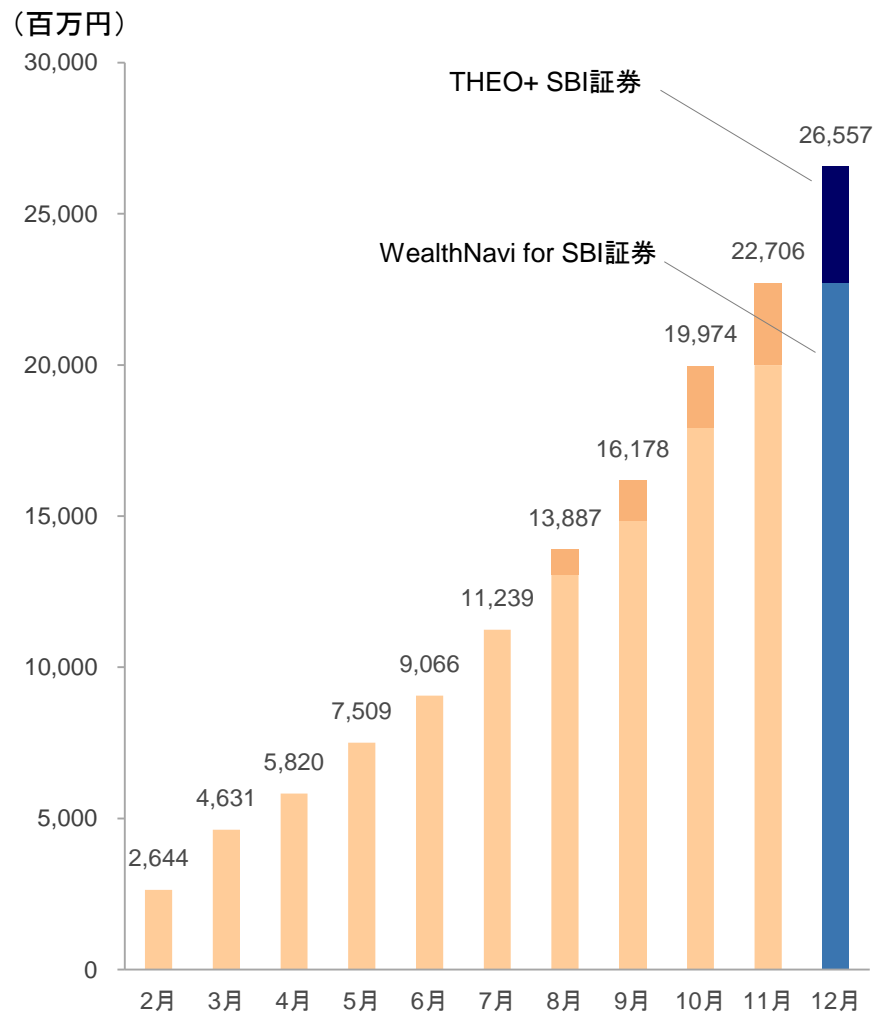
<決算概況>

ロボアドバイザーの状況

<ロボアドバイザー 口座数推移>



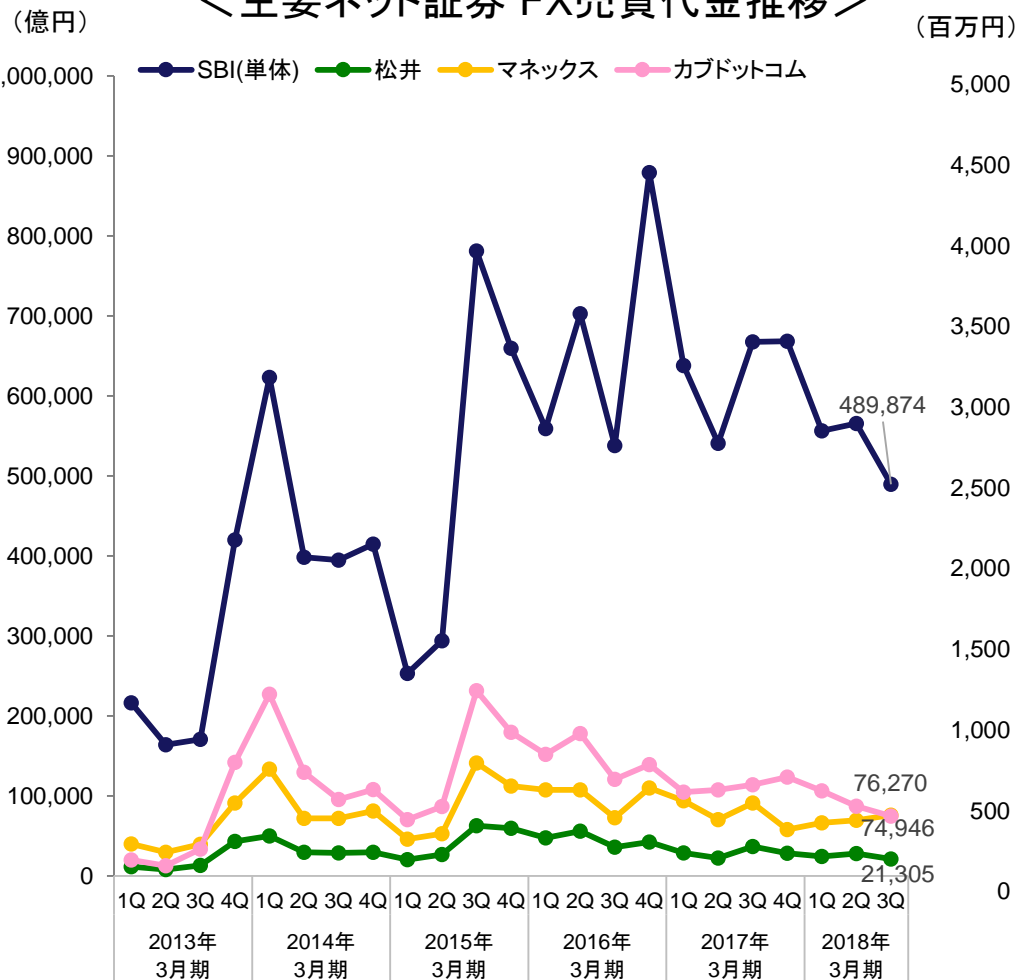
<ロボアドバイザー 残高推移>



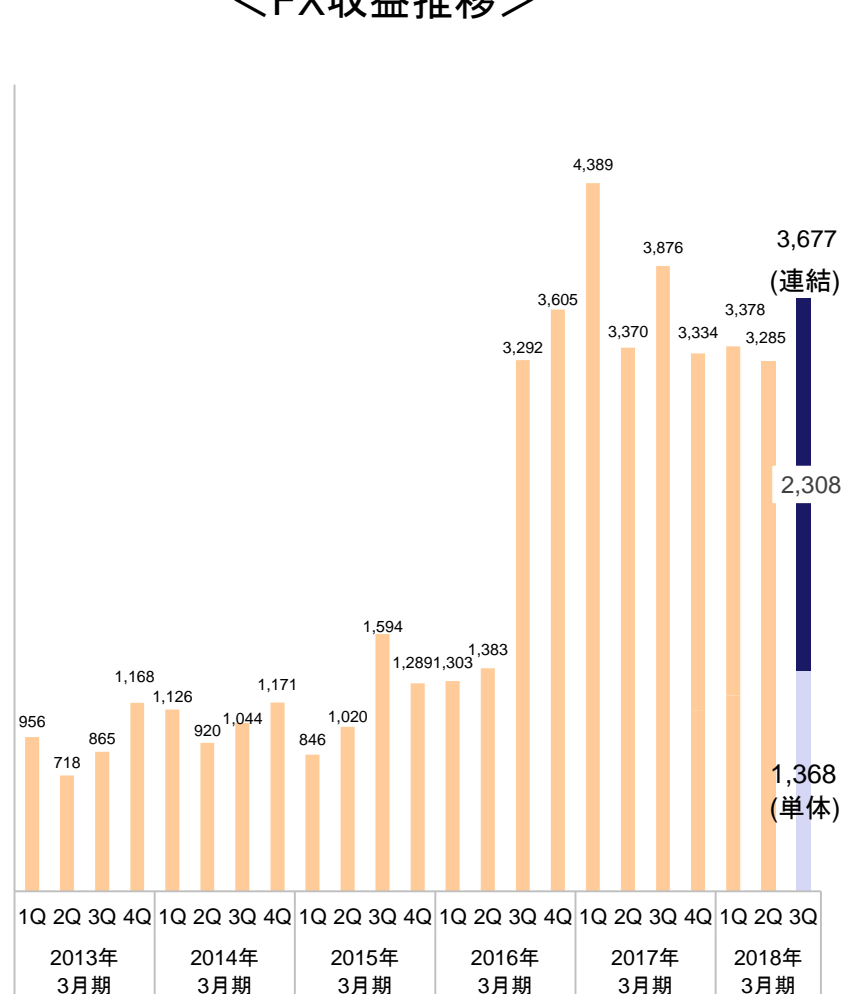
<決算概況>

FX売買代金と収益推移

<主要ネット証券 FX売買代金推移>



<FX収益推移>



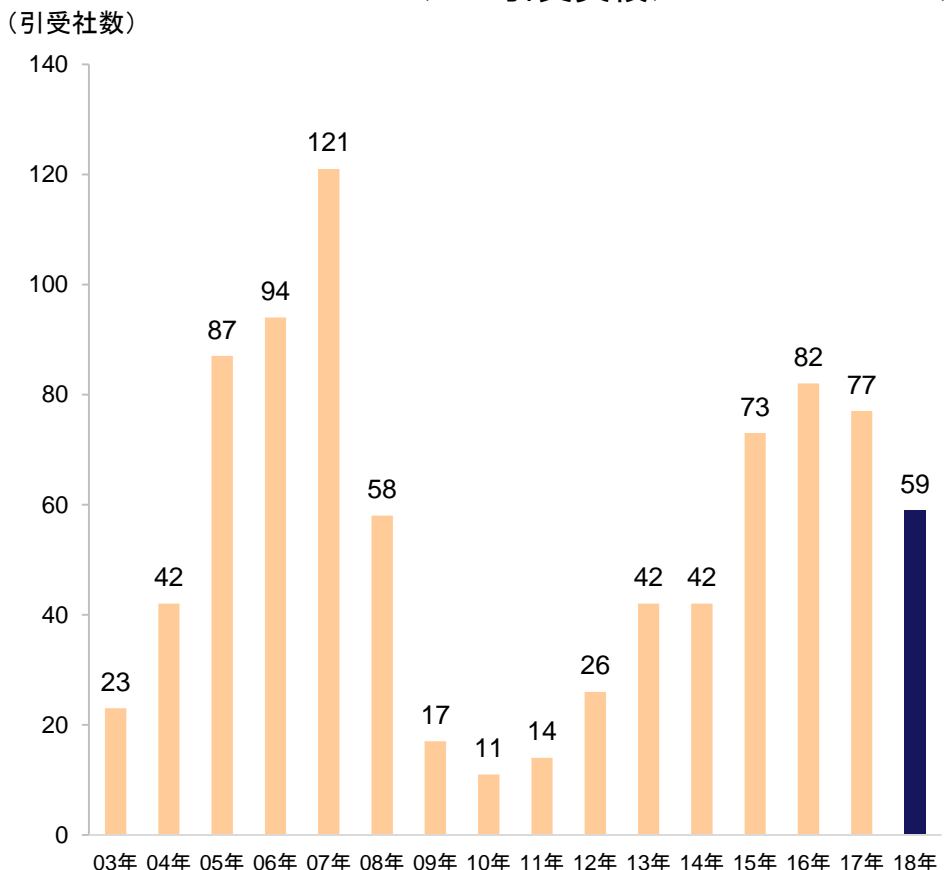
※ データを開示しているマネックス証券、松井証券、カブドットコム証券およびSBI証券の4社の数値を比較

<決算概況>

新規公開株式(IPO)の引受実績

2017年4月から2017年12月までの上場会社数は63社。同期間のSBI証券引受関与率は93.7%と2017年3月期通期に引き続き業界トップ。

<IPO引受実績>



※業者委託は含まない、上場日ベース、委託販売・不動産投信を除く
 ※TOKYO PRO Marketを除く数値にて集計

<IPO引受社数ランキング(2017年4月~2017年12月)>

社名	件数	関与率(%)
SBI	59	93.7%
SMBC日興	48	76.2%
みずほ	41	65.1%
大和	29	46.0%
マネックス	29	46.0%
野村	27	42.9%
エース	27	42.9%
岩井コスモ	26	41.3%
いちよし	26	41.3%

※集計対象は新規上場企業の国内引受分で、追加売出分と海外は含まず
 ※引受参加とは、自社の主幹事案件含む引受銘柄数
 ※各社発表資料より当社にて集計

<決算概況>

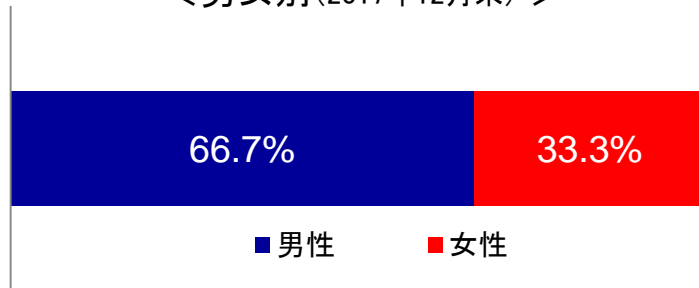
NISA口座の状況

<NISA口座数と稼働率(2017年12月末累計)>

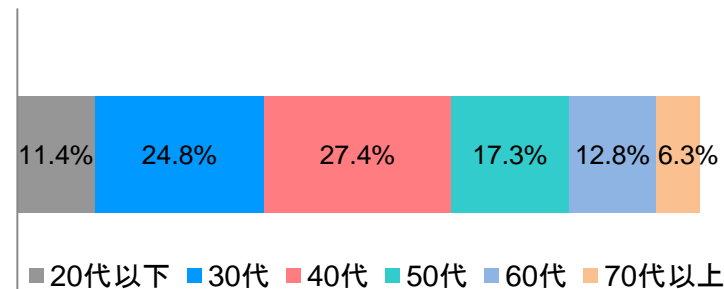
口座数	104.5万口座
稼働口座数	51.2万口座
稼働率	49.0%

※稼働口座数・稼働率は2017年1月以降累計

<男女別(2017年12月末)>

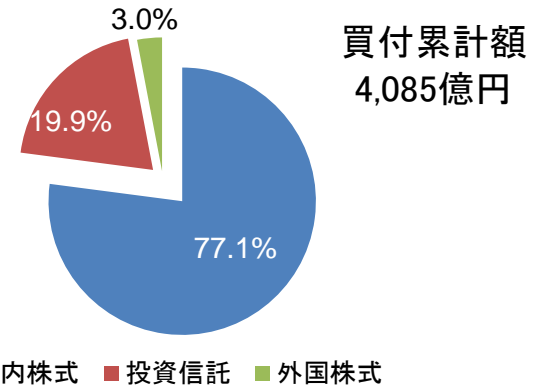


<年代別(2017年12月末)>



※上記数値はNISA口座及びジュニアNISA口座の合算

<買付商品の内訳(2017年1月~2017年12月累計)>



<国内株式買付金額上位銘柄(2017年1月~2017年12月累計)>

No.	銘柄名
1	すかいらーく
2	みずほフィナンシャルグループ
3	日産自動車
4	東芝
5	トヨタ自動車
6	シャープ
7	三菱UFJフィナンシャル・グループ
8	日本郵政
9	イオン
10	RIZAPグループ

<決算概況>

2018年3月期 上半期の主な取り組み

実施時期	取組み内容
4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> • 投資信託の最低買付金額を100円に引き下げ(平成29年5月) • 個人型確定拠出年金(iDeCo)専用ダイヤルの営業日を土曜日にも拡大(平成29年5月) • iDeCoでの運用商品選びをサポートする「SBI - iDeCoロボ」の提供を開始(平成29年5月) • SBIマネープラザ株式会社の全株式を取得(平成29年6月) • 「SBI証券の顧客中心主義に基づく業務運営方針」を制定(平成29年6月) • 「CFD(くりっく株365)NYダウ1周年記念キャンペーン」を実施(平成29年6月)
7月～9月	<ul style="list-style-type: none"> • 株式会社お金のデザインとの業務提携契約を締結(平成29年7月) • NISA口座数が100万口座を突破(平成29年7月) • ロボアドバイザー「WealthNavi for SBI証券」残高100億円を達成(平成29年7月) • 株式会社愛媛銀行との金融商品仲介業サービスを開始(平成29年7月) • ロボアドバイザー「THEO+(テオプラス) SBI証券」の提供を開始(平成29年7月) • 「金・プラチナリアルタイム取引」20,000口座達成(平成29年8月) • 投資信託積立買付手数料の実質無料化(全額キャッシュバック)を開始(平成29年9月) • 国内株式アクティブプランにおいて、約定代金合計額10万円以下の手数料を完全無料化(平成29年9月) • 投資信託積立設定金額が70億円を突破(平成29年9月) • HDI-Japan「問合せ窓口格付け」において国内最高評価の「三つ星」を獲得(平成29年9月) • 「つみたてNISA」の予約受付を開始し、抽選で2,000名様に現金2,000円をプレゼントするキャンペーンを実施(平成29年9月) • 少額テーマ投資サービス「S株Now!」の提供を開始し、買付手数料を全額キャッシュバックするキャンペーンを実施(平成29年9月) • 証券総合口座数が400万口座を突破(平成29年9月) • 地方経済活動の活性化を目的に、日本全国のさまざまな情報を発信するウェブマガジン『JIMOTOZINE(ジモトジン)』をオープン(平成29年9月) • 確定拠出年金の投資信託の残高が1,000億円を突破(平成29年9月)

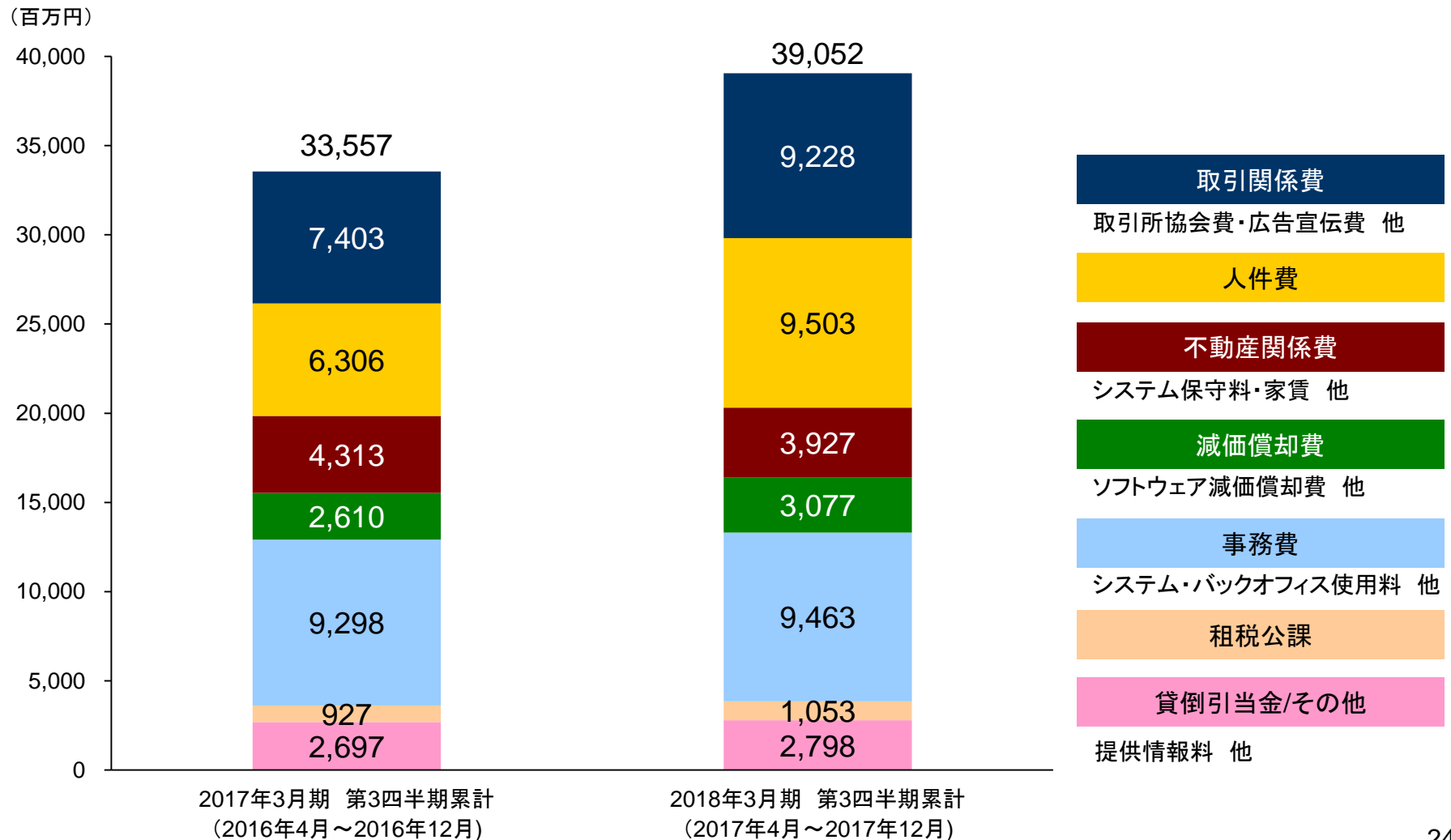
<決算概況>

2018年3月期 第3四半期の主な取り組み

実施時期	取組み内容
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> • 株式会社筑邦銀行との金融商品仲介業サービスを開始(平成29年10月) • 株式会社京葉銀行との金融商品仲介業サービスを開始(平成29年10月) • 証券投資の日(10月4日)に全ての投資信託の買付手数料を実質無料(全額キャッシュバック)とする「投資の日は投信で投資！」キャンペーンを実施(平成29年10月) • 証券総合口座400万口座突破を記念し、400名の方に10,000円をプレゼントするキャンペーンを実施(平成29年10月) • 毎日積立を含む積立設定日のバリエーションの拡充をはじめとした、新たな投信積立サービスを開始(平成29年10月) • ロボアドバイザー「THEO+(テオプラス)SBI証券」、「THEO+(テオプラス)住信SBIネット銀行」、合計10,000口座を突破(平成29年10月) • 「株式一括売却信託／立会外トレードサービス」の取扱を開始(平成29年10月) • 自動貯金サービス「finbee(フィンビー)」との連携を開始(平成29年10月) • 投資信託の積立設定金額が80億円を突破(平成29年10月) • 国内株式(信用取引)委託手数料の引き下げを実施(平成29年11月) • AI搭載のOCR(光学式文字読取システム)を用いた「マイナンバー抽出処理システム」の業務運用を開始(平成29年12月) • 株式会社東京都民銀行との金融商品仲介業サービスを開始(平成29年12月) • 「つみたてNISA」の積立設定受付を開始(平成29年12月) • 12月14日限定で、全ての投資信託の買付手数料を実質無料(全額キャッシュバック)とするキャンペーンを実施(平成29年12月) • ロボアドバイザー「WealthNavi for SBI証券」残高200億円を達成(平成29年12月) • 株式会社青森銀行との金融商品仲介業サービスを開始(平成29年12月) • 国内株式委託手数料の引き下げを実施(平成29年12月) • 投資信託の積立設定金額が90億円を突破(平成29年12月) • 株式会社福井銀行との金融商品仲介業サービスを開始(平成29年12月)

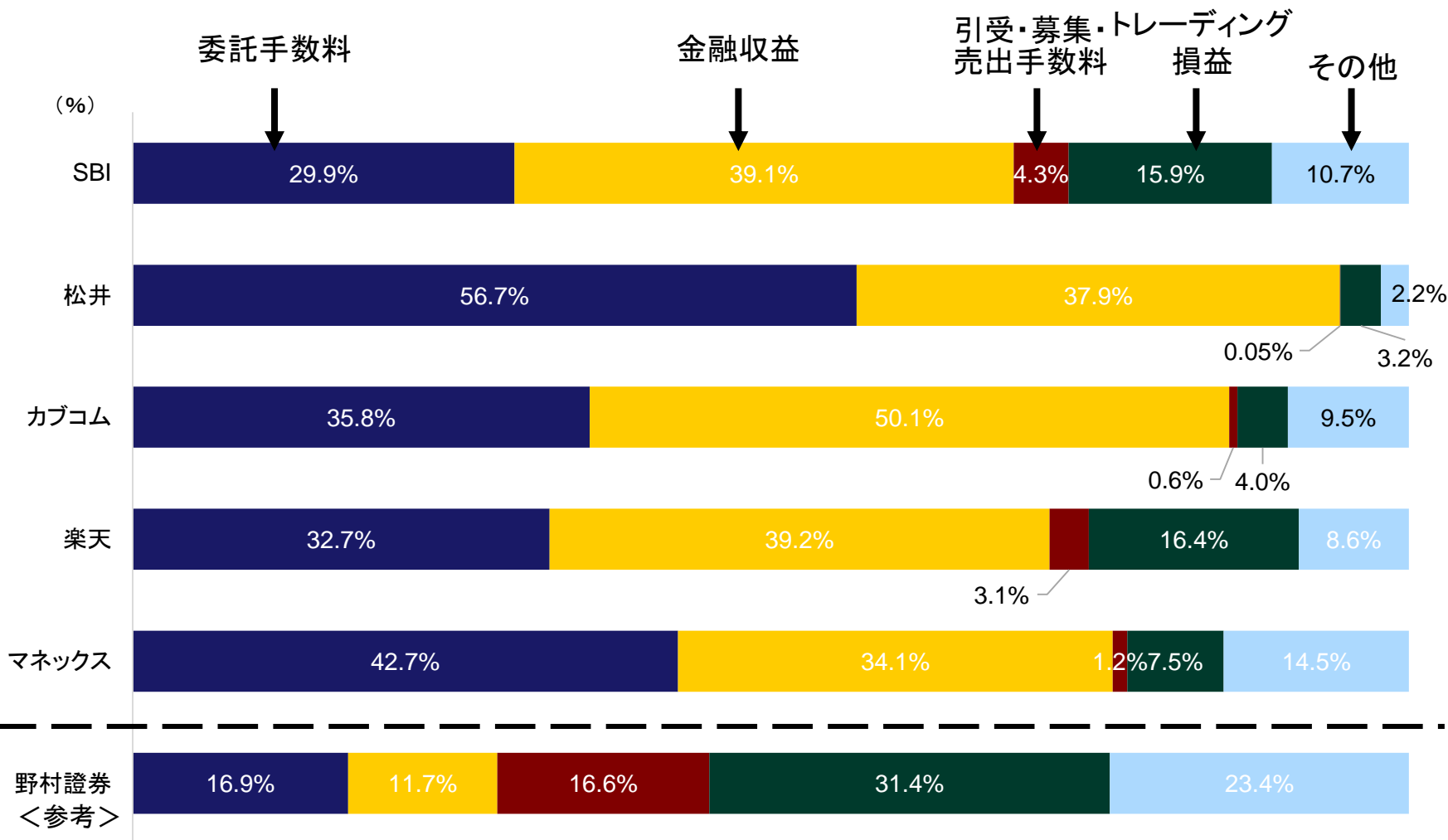
<決算概況>

販売費・一般管理費の内訳



<決算概況>

主要インターネット証券各社 2018年3月期 第3四半期累計営業収益構成比



出所: 各社WEBサイトの公表資料より当社にて集計

<手数料等及びリスク情報について>

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD（くりっく株365）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

<金融商品取引法に係る表示>

商号等 株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号 関東財務局長（金商）第44号

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会